

2022年度版

京都大学情報環境スタートガイド

2022年3月22日発行

京都大学へようこそ。

たくさんの期待と不安を抱いて京都大学という新しい学びの場に足を踏み入れていらっしゃると思います。京都大学では、勉学から学生生活まで様々な活動を支援する情報環境が用意されています。

本ガイドでは、京都大学における情報環境を使い始めるにあたって重要となる事項をまとめてあります。新しく加わったサービス、従来からの変更点もありますので内部進学の方も、ぜひご参照ください。



京都大学情報環境機構WEBサイト

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/>



学生のための情報環境マニュアル(PDF版)

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ecs/support/tebiki.html>



京都大学情報環境機構サービスガイドブック(PDF版)

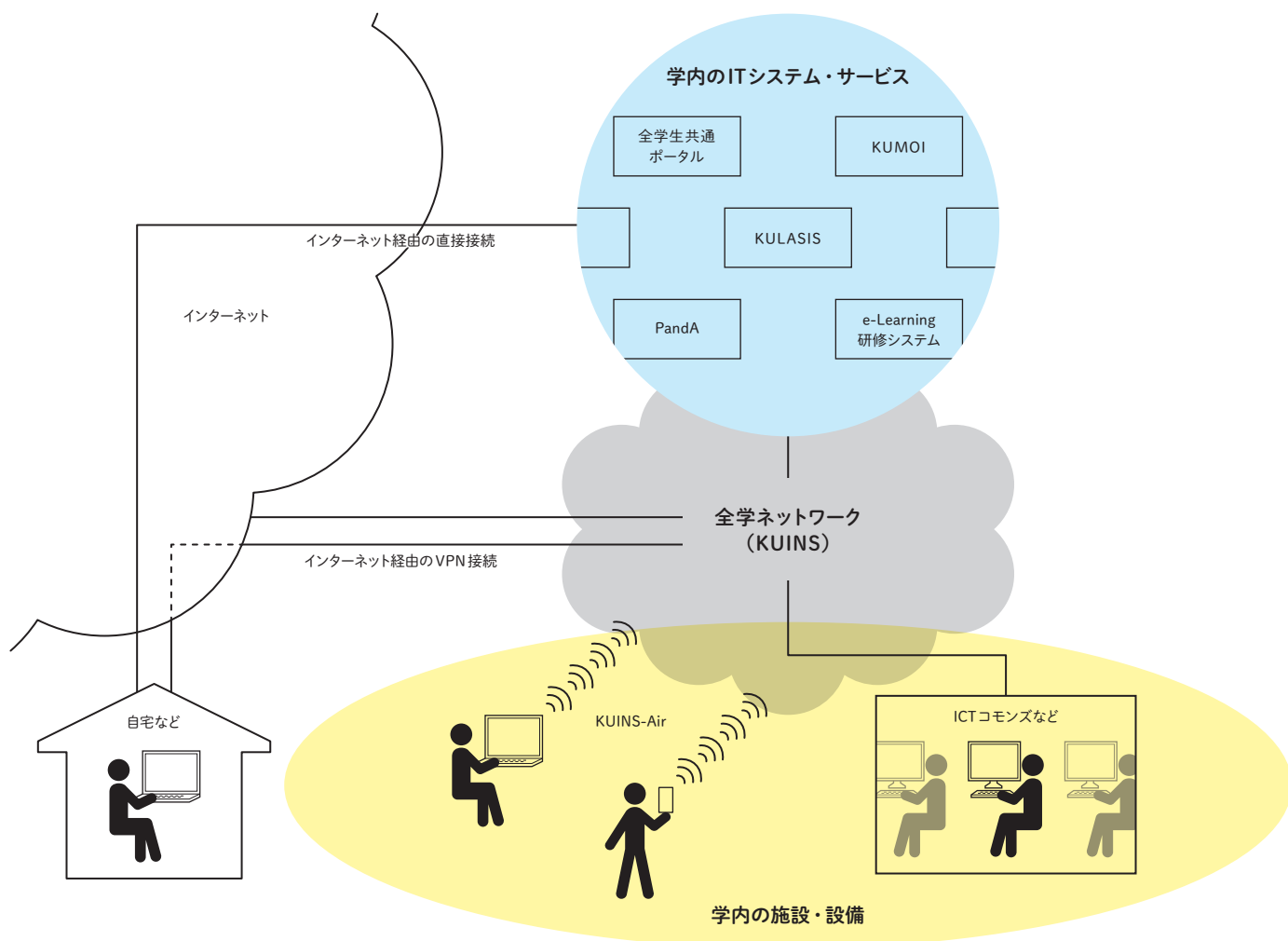
<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/organization/activity/pamphlet.html>

京
都
大
学



京都大学の情報環境

学内情報環境概念図



京大生の1日のスケジュール例

学部学生Aくんの場合

07:00	起床・朝食	
08:00	スマホでメールと教務情報をチェック ・登校	全学生共通ポータル ECS-IDでログイン
09:00	講義室で授業(1限目)	
10:00		
11:00	講義室で授業(2限目)	
12:00	LINEで友達に連絡・学食で一緒に昼食	KUINS-Airに接続
13:00	CALL教室で授業(3限目)	ECS-IDでログイン
14:00		
15:00	サテライト演習室で授業(4限目)	ECS-IDでログイン
16:00	持ち込みPCでレポートの作成・附属図書館で文献を借りる	IC学生証で貸出し手続き
17:00		
18:00	サークルの仲間と学食で夕食	
19:00		
20:00	サークル活動	
21:00	帰宅・授業の予習・レポート作成・レポート提出	PandA ECS-IDでログイン
22:00	余暇	
23:00		
24:00	入浴・就寝	

大学院生Bさんの場合

07:00	起床・朝食	
08:00	スマホでメールと教務情報をチェック ・登校	全学生共通ポータル ECS-IDでログイン
09:00	研究室で調べもの	KUINS-IIIに有線で接続
10:00		
11:00	講義室で授業(2限目)	
12:00	学食で昼食・スマホでメールチェック	KUINS-Airに接続
13:00		KUINS-Airに接続
14:00	研究ゼミ(今日は、附属図書館のラーニング・commonsで行われる) ・持ち込みPCをインターネットに接続する	
15:00		
16:00	ゼミの後も附属図書館で過ごす・文献を借りる	IC学生証で貸出し手続き
17:00	研究室で実験・データ収集・解析、論文執筆など	KUINS-IIIに有線で接続 スーパーコンピュータシステム
18:00		
19:00	研究室の仲間と学食で夕食	
20:00	帰宅	電子ジャーナル・データベース 認証システムプラグインにて接続
21:00	電子ジャーナルで文献収集	京都大学図書館電子リソース ECS-IDでログイン
22:00	余暇	
23:00		
24:00	入浴・就寝	

本人認証のためのアカウント・ICカード

学生アカウント(以下、ECS-ID)は、IC学生証とともに京都大学において自身が本人であることを証明するために必要なものです。情報環境機構、図書館機構、各部局などが提供するITシステム・サービスは、このECS-IDで利用することができます。サービス利用時には、ECS-IDとパスワードを入力することにより、利用者が本人であることを確認します。また、IC学生証は券面による身分証として使えるだけでなく、非接触ICカードとなっているため、各施設への出入りや、証明書自動発行機などにも利用できます。

学生アカウント ECS-ID
情報環境機構、図書館機構、各部局などが提供するITシステム・サービスの利用など

IC学生証
身分証機能、施設への入館、証明書自動発行機利用、(京大生協組合加入者であれば)京大生協組合員証、京大生協電子マネーなど

学内のITシステム・サービスの利用

京都大学では、総合大学として幅広い学問分野において最先端の教育研究が日々行われており、それらを支えるITシステムやサービスとして様々なものが提供されています。

はじめてのあなたにとっては多様な動物や植物が繁殖するジャングルのような空間に思えるかもしれません。迷いながらも結構ですので、目的に応じて一つ一つ使ってみましょう。

全学生共通ポータル 各種ITシステム・サービスへの共通窓口	京都大学学生用全学メール KUMOI 京大生一人ひとり専用の全学メール	e-Learning研修システム 国際高等教育院e-Learning教材 情報セキュリティe-Learning	学認LMS 情報セキュリティe-Learningの副教材
教務情報システム KULASIS シラバス・履修・成績・休講情報などの教務情報	学習支援システム Panda 授業資料閲覧・レポート課題提出等、授業に関する支援システム	国際言語実践教育システム GORILLA 京都大学での英語学習を支えるオンライン語学学習システム	京都大学デジタルアーカイブシステム Peek 京都大学の教育研究過程で収集・作成された資料類を閲覧できる検索システム
京都大学蔵書検索 KULINE 京都大学が所蔵する図書・雑誌、論文、貴重資料、博士論文などの検索	MyKULINE 図書の貸出更新・予約、文献の取寄せなどができる	京都大学図書館電子リソース 電子ジャーナル・電子ブック・各種データベースの利用	そのほか、所属学部・研究科などのシステム
スーパーコンピュータシステム 大規模・高速計算が可能なサービス。 利用申請と利用負担金が必要 (利用には、別途専用のアカウントが必要)	ソフトウェアライセンス ソフトウェアが学割価格で購入して利用できる		

・・・全学生が必ず使用するシステム・サービス
・・・学生が必要に応じて使用するシステム・サービス

全学ネットワークの利用

京都大学には全学の殆どの拠点をカバーする全学ネットワークがあり、KUINS(クインズ)と呼ばれています。このネットワークは吉田、宇治、桂の各キャンパスはもちろん北は北海道標茶町から南は屋久島まで全国の小さな研究施設やサテライトオフィスなどを繋いでいます。KUINSは学内の通信や、学内からのインターネットへの通信に使われ

ます。KUINSでは、全学に設置されたアクセスポイントに無線(Wi-Fi)接続したり、各部屋に設置された情報コンセント等に有線接続することで、PCをネットワークに繋ぐことができます。また、自宅や外出先など学外からもVPNという仕組みを使って学内の各種サービスを利用することができます。

KUINS(京都大学学術情報ネットワークシステム) 情報端末(PCやスマートフォンなど)のネットワーク接続	VPN接続サービス IKEv2接続、OpenVPN接続など
有線(情報コンセント経由)	
無線(無線LANアクセスポイント経由) KUINS-Air、eduroamなど	

学内でのPC(パソコン)利用

ICTcommonsや、サテライト演習室、CALL教室、図書館では、大学が設置した教育用PC端末が利用できます(利用には、ECS-IDが必要です)。大学のWi-Fi(KUINS-Air)が整備されているICTcommonsでは、自分のPCを持ち込んで自学自習することもできます。また生協

では一般アカデミックライセンスや京都大学用の包括ライセンス(在学中のみ利用可能な場合もあります)、個人向けのソフトウェアなどを購入できます。持ち込みの場合も含め、PCに関する様々な問い合わせは情報環境支援センターで受け付けています。

ICTcommons 端末エリア 自学自習に利用できるPC室 PC・ソフトウェア 学術情報メディアセンター南館に設置	PCを持ち込んで自学自習できる場所 ・学術情報メディアセンター南館 ICTcommons ・附属図書館 ラーニング・commons ・吉田南総合館北棟 Student Research Room ・人間・環境学研究所棟 環on ・吉田南1号館 休憩コーナー ・各生協食堂 ほか多数	サテライト演習室 授業などに利用する端末室 PC・ソフトウェア 各学部設置(p.06参照)	CALL教室 授業に利用するコンピュータ支援型言語学習用教室 CALL端末 学術情報メディアセンター南館など、吉田南構内に設置	情報環境支援センター 総合問い合わせ窓口 ITヘルプデスク 学術情報メディアセンター南館1階
---	--	--	--	--

京都大学のネットワークとセキュリティ

無線LANと有線LAN

学内のほとんどの建物は無線LANでカバーされていて、現在約2,900台のアクセスポイント(AP)が設置されています。場所によって若干の違いはありますが、「KUINS-Air」「eduroam」等の無線LAN接続が利用できます。

<https://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/wifi/>

また、学内にある建物のほぼ全ての部屋に「情報コンセント」と呼ばれる有線LANへの接続口が設けられていて、KUINSを利用することができます。情報コンセントには黄色と緑色の2種類があり、KUINS-IIとKUINS-III(後述)のネットワークへの接続に使われます。



KUINS-IIとKUINS-III

KUINSのネットワークはセキュリティ確保の観点から2種類の論理的に異なるネットワークに分けられています。一つはKUINS-IIと呼ばれるネットワークで、接続されたコンピュータ(主にサーバ類)にはインターネットのグローバルアドレスが付与され、Webによる情報発信などインターネットからもアクセスが必要とされるサービスに利用されています。もう一つはKUINS-IIIと呼ばれるネットワークで、PCやプリンタ、モバイル端末などの機器をつなぐ場合に使われます。接続され

たコンピュータにはプライベートアドレスという学内だけで使えるアドレスが自動的に割り振られます。プライベートアドレスが割り振られた機器からウェブ等のインターネット利用を行う場合は、通信を中継するためのNATと呼ばれるサーバを経由して行います。あなたのPCやモバイル端末などをKUINS-Airに接続すると、KUINS-IIIに接続されます。研究室等で有線で繋ぐ場合は、研究室の担当者の指示に従ってください。

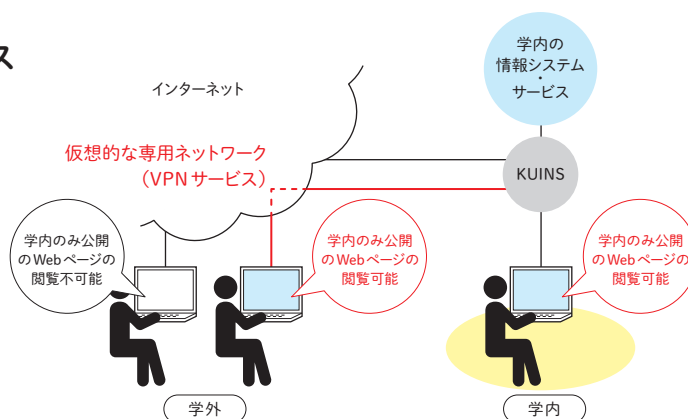
学外から大学のネットワークに入る時のVPNサービス

VPN(Virtual Private Network)という仕組みを使うことで、自宅や学会会場などの学外から学内のネットワークに接続して、学内

のみ公開されているサービスを利用することができます。本学で提供しているVPNサービスはいくつかありますが、主なものは「IKEv2接続」「OpenVPN接続」です。WindowsPCやMac、iPhone、Android端末などで利用することができます。

VPNサービスの利用方法については、次のページを参照してください。

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/vpn/>



ネットワークの情報セキュリティの監視

京都大学全体のネットワークであるKUINSには、その出入り口に不正アクセス検知装置と呼ばれるセキュリティ監視装置が設置されていて、全ての通信を24時間365日監視しています。怪しい通信

が発見されたときは、該当者に連絡して安全確認を行っています。

大学全体の情報セキュリティは、ひとりひとりが守る

上記の監視をしていれば、安全安心なのかというそうではありません。インターネットはとても便利な道具ですが、危険が潜んでいるのでセキュリティについては利用者であるあなたが注意しないと、思わぬ事故(情報セキュリティインシデント)に巻き込まれる可能性があります。また、一人の不注意から被害が大学全体に拡大し、危機的状況に容易に陥ってしまう危険性もあります。従って、大学の情報

セキュリティを守るためには、一人一人の心構えが何よりも大切です。特に、メールの添付ファイル、Webでアクセスするサイトにはマルウェアが隠されている可能性があります。そのような罠に引っ掛からないように特にメールとWebは用心深く使ってください。また、OS(基本ソフト)やウィルス対策ソフト、アプリケーションのアップデートは欠かさず行ってください。

毎年、情報セキュリティ e-Learningを受講してください!

京都大学では、全学情報セキュリティ委員会の下、情報や情報技術の安全で効果的な利用のため、全ての構成員に毎年度情報セキュリティ e-Learningを受講することが義務づけられています。

受講未了の場合、ECS-IDを使ったサービスを利用できなくなる場合がありますので、必ず受講してください。

全学メールとポータル

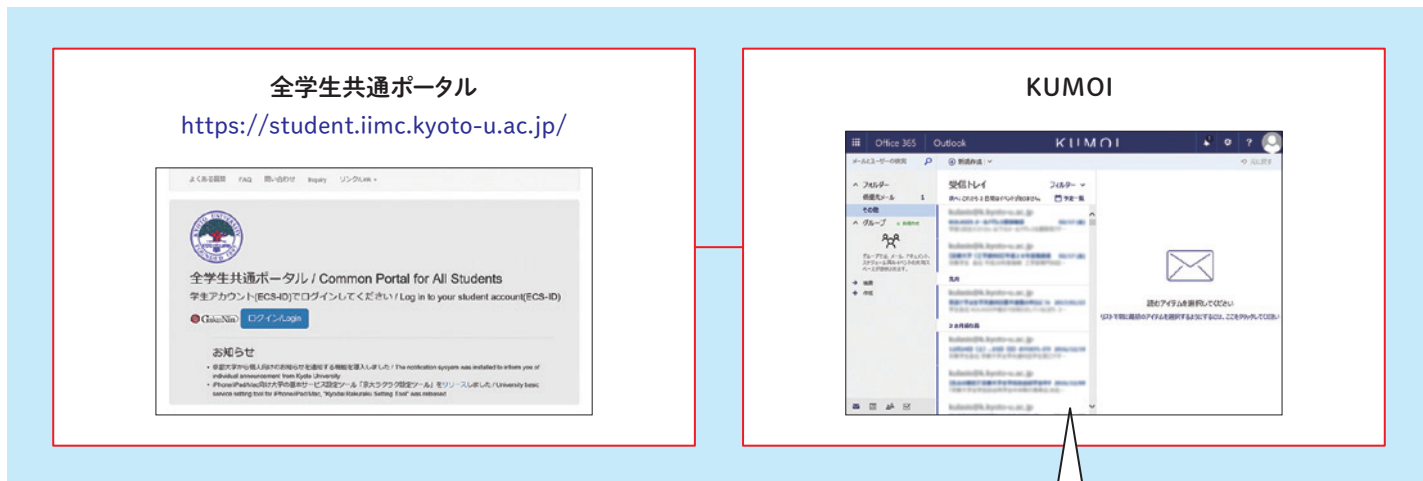
毎日、メールをチェックしてください!

京都大学では、個人あての重要なお知らせや、緊急を要する連絡を全学メールアドレスに送信しますので、1日1回必ずメールの確認をしてください。

全学生共通ポータルにログインすると、全学メールにアクセスできます。全学生共通ポータルからは、全学メールの他にも様々なシステムにアクセスでき、パスワードを再度入力しなくてもアクセスできる

シングル・サイン・オンの仕掛けによりパスワードを何度も入力しなくても良いようになっています(だから、パスワード管理はとても大切です!)

今後、全学生共通ポータルは強化される予定ですので、京大ジャングルに迷う前にまずは全学生共通ポータルにアクセスする習慣を付けましょう。



KUMOI

あなたのKUMOIのメールアドレスは、下記URLのページで確認できます。
京都大学アカウント管理 <https://ecs.iimc.kyoto-u.ac.jp>

学生用全学メールKUMOIの受信箱(メールプール)容量は50GBです。
容量を越えるとメールを受信できなくなりますので、不要なメールは適宜削除してください。
全学生共通ポータルにログインする以外に、以下の方法でも全学メールにアクセスできます。

〈メールソフトで利用する方法〉

PCのメールソフトで学生用全学メールの送受信をする場合は、
現在使っているメールソフトで、以下のような受信・送信の設定を行ってください。

受信設定	サーバ名 : outlook.office365.com ユーザ名 : ECS-ID@st.kyoto-u.ac.jp パスワード : ECS-ID のパスワード IMAP4利用可 (SSL必須 : 993番ポート) POP3利用可 (SSL必須 : 995番ポート)	ECS-IDが「a00XXXY」の場合、 「a00XXXY@st.kyoto-u.ac.jp」 となります。
送信設定	サーバ名 : smtp.office365.com 認証アカウント : ECS-ID@st.kyoto-u.ac.jp パスワード : ECS-ID のパスワード SMTP AUTH利用可 (STARTTLS必須 : 587番ポート)	

〈メールの転送先の変更方法〉

下記URLの「パスワードの変更・学生用メール(KUMOI)の転送設定変更」ページで転送先を確認できます。
設定しているメールアドレスを利用しなくなった場合は、必ず別の有効なアドレスに変更してください。
京都大学アカウント管理 <https://ecs.iimc.kyoto-u.ac.jp>

サテライト演習室、教育用PC端末、ICTコモンズ等の設置場所 (2022年3月現在)

※最新情報は情報環境機構WEBサイトにてご確認ください。

教育用PC端末、ICTコモンズ等

吉田キャンパス

- ① 附属図書館 3階 情報端末エリア
- ② 吉田南総合図書館 2階 オープン・スペース・ラボラトリ(OSL)
- ③ 学術情報メディアセンター南館 1階



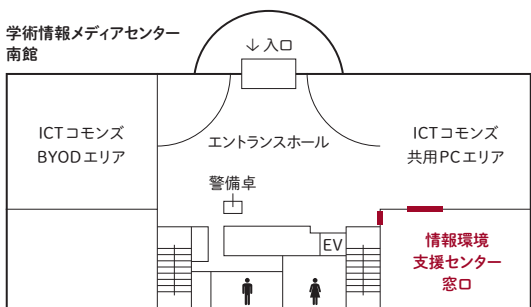
サテライト演習室

各部局に設置のサテライト演習室のご利用は原則として当該部局に所属の方に限ります。詳細は各部局へお問い合わせください。

- ④ 総合人間学部/人間・環境学研究科 総合人間学部棟
2階1206
3階1305LL教室
- ⑤ 国際高等教育院 吉田南総合館
北棟 共北21、23、24
東棟 共東22
- ⑭ 国際高等教育院 学術情報メディアセンター南館
3階301CALL教室、302CALL教室
- ⑥ 文学部/文学研究科 文学部校舎
3階L312
- ⑦ 教育学部/教育研究科 教育学部本館
2階226教室
4階420教室
- ⑧ 経済学部/経済学研究科 法経済学部東館
地階情報演習室1
- ⑨ 理学部/理学研究科 理学研究科6号館
2階210
- ⑩ 医学部/医学研究科 医学部総合解剖センター
2階実習室
- ⑪ 医学部/医学研究科 医学部人間健康科学科西棟
1階端末室
- ⑫ 工学部/工学研究科 工学部物理系校舎
1階124情報処理演習室1
2階230情報処理演習室2
- ⑬ 農学部/農学研究科 農学部総合館
2階W222、W228
- ⑭ 情報環境機構 学術情報メディアセンター南館
2階演習室203、204、3階演習室303

総合問い合わせ窓口

- ⑮ 情報環境機構 学術情報メディアセンター南館 1階
情報環境支援センター
TEL 075-753-7840
FAX 075-753-9001
E-MAIL support@iimc.kyoto-u.ac.jp



※窓口対応時間は、平日9:00 - 17:00です。

コンピュータソフトウェアの適正な使用について

コンピュータソフトウェアを不正に入手・使用すると、著作権法違反として、使用者本人や大学が法的責任を問われる可能性があります。また、不正なソフトウェアはマルウェア(有害な動作を行う意図で作成された悪意のあるソフトウェア)を混入したものが多く、氏名や銀行口座など個人情報の流出やファイルの消失などの被害に遭う可能性もあります。

以下の事項に留意して、ソフトウェアは適正に使用してください。

- ✓ ソフトウェアは、正規品を正しい流通経路(正規販売代理店、メーカー直販、メーカー正規WEB サイト等)で入手してください。正規以外の流通経路で入手した非正規ソフトウェア(海賊版ソフトウェアや不正ライセンス等)は絶対に使用しないでください。
なお、違法にアップロードされたと知りながら非正規ソフトウェアを入手することも違法です。
- ✓ クラックツール(ソフトウェアの仕組みを不正に改変するツール)を入手しないでください。
- ✓ ソフトウェアは、「使用許諾契約書」に則って適正に使用し、不正コピーや不正な改変は行わないでください。



著作権法が令和3年1月に改正施行され、著作権法の取締りも厳格化されています。不正に使用した結果、高額な賠償金や刑事罰などの厳しい罰則を課せられる可能性があります。

ソフトウェアの不正使用は絶対にやめてください!

まず確認してください

— 情報セキュリティを確保するために —

情報資産の利用目的

- 学術情報ネットワークシステム(KUINS)や全学アカウント(ECS-ID/SPS-ID)等を含む本学の情報資産の利用目的は、教育、研究活動、業務と定められています。

基本的なセキュリティ対策の 確実な実施

- アカウント、パスワードは適切に管理を行う。
- OS、ソフトウェアのセキュリティ修正プログラムを確実にインストールし、最新状態にする。
- セキュリティ対策ソフトを導入し最新状態で確実に動作させる。
- メール添付ファイル開封、URLクリックはウイルス感染等を目的とする偽物でないか確認をしてから行う。
- メール送信時は誤送信による情報漏えいを防ぐため、送信アドレスを再確認する。
- 教育、研究、業務に関係のないサイトにアクセスをしない。

情報発信等の前には 必ずチェック

- 差別、名誉毀損、侮辱、ハラスメントにあたる可能性のある情報ではありませんか？
- プライバシーを侵害する情報ではないですか？
- 守秘義務に違反する情報ではないですか？
- 著作権等の財産権を侵害する情報ではないですか？
- その他法令に基づく処罰の対象となったり、損害賠償等の民事責任を発生させる可能性はないですか？

P2Pファイル 交換ソフトは 利用禁止

- P2Pファイル交換ソフトは、インターネットを通じてファイルを不特定多数で共有することを目的としたソフトウェアで、ファイル共有ソフトとも呼ばれています。知らないうちに著作権を侵害する行為に協力してしまう等の理由で、原則利用を禁止しています。
- P2Pファイル交換ソフトの例：Winny(ウィニー)
Share(シェア)
Xunlei(迅雷)
Bit Torrent(ビットトレント)
Edonkey(イードンキ) 他

情報セキュリティ e-Learningの受講

- 全ての構成員の方に**毎年度**の受講が義務づけられています。
<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismo/e-Learning/>